

奈良県女性の輝き・活躍促進計画（第3次奈良県男女共同参画計画）

目次

はじめに	1-2
第1部 計画の基本的な考え方	3
I 計画の位置づけ	
II 計画の期間	
第2部 奈良県女性の輝き・活躍促進大綱	
第1章 奈良県を取り巻く環境	4-11
I 奈良県の現状	
II 奈良県の女性の希望	
第2章 大綱の基本的な考え方	12-13
I 基本理念	
II 基本目標	
III 課題解決の方途の検討	
第3章 大綱の内容	14-46
I ライフステージごとの施策体系	
II ライフイベントごとの基本施策マップ	
III ライフステージごとの主な課題と課題解決のための施策	
1 乳幼児期	
2 小学生期	
3 中・高校生期	
4 青年期	
5 成人期Ⅰ	
6 成人期Ⅱ	
7 成人期Ⅲ	
8 高齢期	

第3部 奈良県女性の輝き・活躍促進アクションプラン

第1章 プランの具体的施策	47-60
第2章 プランの目標指標	61-63
I 成果指標（アウトカム）	
II 行動指標（アウトプット）	
第3章 プランの推進	64-65
I 推進体制	
II 進行管理	

参考資料

1. データで見る奈良県の男女共同参画	66-75
2. 用語解説	76-77
3. 奈良県男女共同参画審議会委員名簿	78
4. 計画策定の経緯	78
5. 計画策定の背景	79-81
6. 男女共同参画政策のあゆみ	82-84
7. 関係法令等	85-105
奈良県男女共同参画推進条例	
男女共同参画社会基本法	
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律	
女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約	

はじめに

「奈良県女性の輝き・活躍促進計画（第3次奈良県男女共同参画計画）」は、本県の女性が、その能力を十分に発揮して活躍できるよう、その阻害要因を取り除き、「男女ともにライフステージの各段階で、多様な選択肢の中から、自らの道を選択できる社会をつくり、女性が輝き活躍する奈良県」の実現を目指し、策定するものです。

奈良県の人口は、大阪都市圏に勤務する人の住宅開発に伴い、1960年代後半から1990年代前半にかけ大きく増加したことから、ベッドタウンの特徴として本県の県外就業率は全国1位となっています。また、核家族世帯率及び専業主婦率についても、全国1位となっています。

一方、奈良県の合計特殊出生率は、全国平均を大きく下回る状況が続いています。出生数も減少傾向にあり、年少人口は1983（昭和58）年以降、生産年齢人口は1999（平成11）年以降減少を続けていますが、老年人口は平均寿命が延びたことなどにより一貫して増加しています。

その他の特徴としては、本県の大学進学率は高く、教育に支出する金額は、全国1位となっています。また、自発的に何らかの自己啓発を実施した有業者の比率は全国4位であり、これらのことから県民が「教育・学び」に熱心で、能力の潜在力は高いと思われれます。

また、奈良県の女性は第1子出産を機に約6割の方が離職しているものの、子育て期の女性にも就業希望者が多いことがわかりました。

「働くこと」の意味・目的には、「生計維持」、「自己実現」、「社会貢献」の三つがありますが、奈良県の女性もそれぞれの考えにより、生計の維持や経済的自立を計りたいとの希望の他にも、自己の能力を発揮して社会で活躍したいという意欲を持っておられると考えています。

また、奈良県の夫婦が希望する子ども数の平均は2.42人であり、子どもを持ちたい理由について、約8割の女性が「子どもがいると生活が楽しく、心が豊かになるから」と回答しています。

こうした、「社会で活躍し、貢献したい」「充実した幸せな生活を送りたい」という、本県の女性の希望を叶えるためには、一人一人の様々な考え、価値観が尊重されることが大切であり、ライフステージの各段階で、多様な選択肢の中から自らが選択できる社会であることが必要です。

また、男女の人権の尊重のもと、固定的な性別役割分担意識の払拭や、男女とものワーク・ライフ・バランスが推進されることも重要な点です。

このようなことをふまえ、本計画に示した施策の推進により、「女性が輝き活躍する奈良県」を実現するため、男女ともに、経済的な自立と働き方の見直しによる仕事と生活の調和が推進されることで、充実した人生を送ることができる「男女がともに支える暮らしやすい奈良県」となることを目指します。

また、女性の能力や視点が活かされ、女性が社会で活躍することによって、新たな価値や需要が創出されることで、「多様性と活力に富んだ奈良県」となることを目指します。

そして、この二つの目標が相互に作用しながら好循環が生まれ、個人も社会もともに発展する奈良県をつくりたいと考えています。